



保育科 講師

中込 まゆみ (なかごみ まゆみ)

Nakagomi Mayumi

自己紹介 (プロフィール)	本学を卒業し、幼稚園教諭として子どもたちに寄り添ってきました。保育者は、子どもや保護者にとって初めての集団生活を共に過ごす大切な存在です。“三つ子の魂百まで”大切な時をふさわしい環境のもと過ごすことが、子どもの人生の礎になります。“どうして?”を大切に、子どもと保育を見つめていきたいと思っています。
学生へのメッセージ	皆さんの今は、自分のチョイスで色んな経験ができます。何をどう感じチョイスしてみるのか?自分らしい学生生活を送ってほしいと願っています。その経験の一つひとつがこれからの糧になるはずです。チャレンジする心…応援します。
保有学位	
保有資格・免許	幼稚園教諭Ⅱ種
研究分野	保育学 食育
主な担当科目	保育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ 幼稚園教育実習Ⅰ・Ⅱ 幼稚園教育実習指導Ⅰ・Ⅱ
学内での活動	地域連携研究センター専任 学外実習委員会
学外での活動	

所属学会	日本保育学会 日本保育者養成教育学会
------	-----------------------

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
平成 28 年度甲斐市愛育連 合会研修会講師	H28. 7.	愛育会員対象に幼児との関わり方を学ぶ研修会において講師を務めた。幼児の特徴と接し方のポイント、手作りおもちゃのポイントについて講演・実技指導を行った。
子育て支援事業「ももっ こ広場」講師	H28. 10.	一宮愛育会主催の「ももっこ広場」において乳児から小学生を対象に「親子遊びについて」をテーマに親子でスキンシップを図りながら簡単なおもちゃ作り・遊びの講演と実技指導を行った。
諏訪地区保育連合会主催 保育連合研究大会におい ての助言者	H28. 10.	長野県諏訪地区保育連合会主催の保育連合研究大会の第1分科会において「旬を知り 食を楽しもう～食育活動を通して自ら「やってみよう」と思える子どもに～をテーマに岡谷市立東堀保育園の実践研究の助言者を務めた。4月より東堀保育園の実践研究を助言しながら進めた。
平成 28 年度保育研究集会 における助言者	H29. 1.	岡谷市健康福祉部主催の研究大会において「よく考え、自ら行動できる子どもを目指して～食べ物を話題にする子ども～」を統一テーマに研究発表集が開催された。事例発表をもとに保育者の意見や感想を集約し、明日からの保育につながるキーワードを探った。

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑 誌、発表学会等	概要
遊びづくりの達人に なろう！子どもが夢 中になってグーンと 成長できる 3歳児の遊び 55 (共 著) 4歳児の遊び 55 (共 著) 5歳児の遊び 55 (共 著)	H23. 2.	明治図書出版	本書は、若手保育者を対象に、現代において子どもの成長に必須であると考えられる主として3歳児の子どもの遊びを精選し、具体的な遊びの意義、内容について明らかにするとともに、その遊びから発展または展開する遊びの姿と保育者の援助、環境づくりについて多面的に考察した。同時に新保育所保育指針、新幼稚園教育要領との関連について明らかにし、保育者が見通しをもって実践活動に携わることのできるように示した。
保育現場における食 育活動と保育者養成	H26. 5.	日本保育学会 第 66 回大会発 表論文集 p. 948	保育現場と地域の連携による畑の実践活動を題材に、保育現場における食育活動の課題と養成校における食育学習のあり方について検討した。40の実践事例は5つの視点に整理することができ、この視点は保育現場における食育活動のキーワードと考えられる。保育園・家庭・地域のパワーが結集できた畑の活動は、子どもの心身の発達を育むことにつながる有効な実践企画であった。養成校においては、食を営む力の育成に向けてその基礎を培うことを目標に、指針の正しい理解と地域までを考えた企画立案のできる保育者養成が必要であることを探った。